

#サンゴ学生

関東学生潜水連盟（以下、学連）では、サンゴを守るため、私たちが得意とする『ダイビング』と『発信力』を軸に据えて、様々な活動を実行してきた。以下に学連の主な活動内容を発表する。

1. 活動実績



↑サンゴ礁年に関する活動を個人のSNSで拡散

特にハッシュタグは、「#国際サンゴ礁年」以外にも「#サンゴマスター」や「#サンゴ学生」などを自分たちで考え、インスタグラムやFacebook、Twitterなどで拡散した。

また SNS 上に留まらず、大学の学祭では国際サンゴ礁年に関するポスターを作ったり、さかな芸人ハットリさんやさかなクンにご協力いただいた。さらに、学連だけでなく、この活動に共感してくれた中高生が学校をあげて参加してくれるなど、活動の輪がさらに広がっていく。



写真（左から桜丘中学・高等学校、法政大学、東京海洋大学）

その他には、国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）が推進している MY 行動宣言を集めたり、ダイバー版 MY 行動宣言を作ったりした。

～ダイバー版 MY 行動宣言（右の QR コードはダイバー版 MY 行動宣言のアンケートフォーム）～

- ①たべよう ダイビングに行った際はその地方の特産を食べよう！
- ②ふれよう ダイビングをして、地形や生物に感動しよう！
- ③つたえよう SNS を通して海のすばらしさや現状を拡散しよう！
- ④まもろう ダイビングに行く際は無駄にゴミを出しません！
- ⑤えらぼう 環境負荷の少ないシャンプーや日焼け止めを選ぼう！



2. 取組による効果

東京海洋大学の大学祭では、予想を超え 1,000 人以上の方々に参加していただいた。桜丘中学・高等学校 JRC 部では、映画を通じてサンゴの実状を知ってもらう事が出来た。法政大学アクアダイビングクラブでは、パネルを見せることによってお客さんに理解を深めていただいた。他にも学連に所属する大学生・関係者による SNS での国際サンゴ礁年に関連する活動の投稿の「いいね！」がトータルで 200 以上集まり、着実にサンゴ保全の活動が浸透し始めている。

3. 今後の予定・展望

もっと多くの中高生にも学連の活動を知ってもらい、この MY 行動宣言にも参加してもらう予定。そのために学連の連盟員が母校に声をかけ、交渉を進めている。

またダイバー版 MY 行動宣言も広めるため、SNS を使って呼びかけていく。まず 200 以上の宣言数を 2019 年 3 月のオフィシャルサポーターミーティングまでに集める予定。加えてより多くの方々へダイバー版 MY 行動宣言を認知していただけるよう、オフィシャルサポーターの企業方とも連携していく。連携の第一弾として、2019 年 2 月号のマリンダイビングやオーシャナさんの記事にダイバー版 MY 行動宣言に関する記事を掲載していただける予定になっている。

そして、これからも関東学生潜水連盟の本分であるダイビングを通じて、サンゴ礁保全のためにオニヒトデ駆除ダイビングやサンゴの植え付けなどの活動に参加していく。

<関係大学・高校>

桜丘中学・高等学校 JRC 部、学習院大学輔仁会運動部会ダイビング部、芝浦工業大学体育会スキューバダイビング部、千葉工業大学体育会スキューバダイビング部、中央大学体育同好会連盟海洋研究部、東京海洋大学潜水部、東京女子体育大学・短期大学ダイビング部、獨協大学学友会体育会ダイビング部、日本大学スキン&スキューバダイビングクラブ、法政大学アクアダイビングクラブ、立正大学体育会スキンドайビング部、生物多様性わかものネットワーク、キャンパスエコロジーフォーラム、Climate Youth Japan、OceanKIDs